

令和5年第6回菊池市教育委員会会議録

日時 令和5年6月19日(月)午前10時00分
場所 キクロス大研修室
出席者

教育長	音光寺 以 章
教育長職務代理者	生 田 博 隆
教育委員	森 智保美
教育委員	渡 邊 和 雄
教育委員	増 永 幸一郎
教育委員	城 聡 子
教育部長	村 田 義 喜
教育審議員	藤 田 英 明
学校教育課長	倉 原 桂 一
生涯学習課長	川 口 克 明
社会体育課長	宮 本 健
学校給食管理室長	富 田 信 幸
菊池市公民館副館長	吉 川 良 二
菊池市立図書館長	安 永 秀 樹
学校教育課指導主事	西 野 浩 史 (欠)
学校教育課指導主事	清 永 邦 宏
学校教育課課長補佐	岩 根 貴 史

16 / 17人

日 程

1. 開 会
2. 議事録承認
3. 教育長の報告
4. 議案案件
議案第18号 菊池市社会教育委員の委嘱について(生涯学習課)
5. 報告案件
報告第12号 令和5年度菊池市学力・学習状況詳査(4月)結果概要について
(学校教育課)
6. その他
7. 閉会
8. 教育委員会各課からの事務連絡等
 - ①行事予定について
 - ②次回の教育委員会議
令和5年7月20日(木) 13:30~ キクロス大研修室
 - ③その他

開会

音光寺教育長 全員おそろいですので、ただいまから始めたいと思います。御起立をお願いします。

皆さん、おはようございます。ただいまから、令和5年第6回菊池市教育委員会を開会いたします。よろしくをお願いします。

それでは、会議次第に従い、会議録の承認についてを議題とします。

教育委員会会議規則第14条第2項の規定により、令和5年第5回菊池市教育委員会の会議録に記載した事項について、異議はございませんか。

委員一同 異議なし

音光寺教育長 異議ありませんので、令和5年第5回菊池市教育委員会の会議録については、承認することに決定します。

次に、教育長の報告を議題とします。

私より報告をいたします。

まず、動静についてです。

5月23日、子どもまんなか熊本キックオフトップセミナーが県庁で行われております。それから庁議が行われました。

5月24日、キクロスカレッジ運営委員会、それから、菊池南中学校の生徒と韓国、金堤市の中学生が交流をしております。中学3年生の交流で、金堤市から26名おいでになって、南中学校の3年生が歓迎しました。一緒にダンスを踊ったりして、良い交流ができたとても感激されて帰られました。

5月25日木曜日、県人権同和教育連絡協議会の役員会が行われております。

5月26日金曜日、菊池市の防災会議。

5月28日日曜日、市内の小学校の運動会がございました。とても天気恵まれて、参観者も大変多くて、感動的な運動会ができたんじゃないかと思います。教育委員の皆さんにおかれましては、参観では大変お世話になりました。ありがとうございました。

5月30日火曜日、熊本県人権啓発推進協議会といじめ問題対策連絡協議会が県庁で行われております。

6月1日木曜日、行政改革推進本部と特別支援教育連携協議会、菊池支部の解放子ども会の学習会開講式が行われております。

6月2日金曜日、管内教育長会議、幼・保小中連携推進協議会。

6月3日土曜日、キクロスカレッジ開校式が行われております。本年度、34名の方が新たに受講されております。

6月4日日曜日、部落解放研究会の総会に参加しました。

6月5日月曜日、庁議、TSMC推進本部会議、防犯協会総会。

6月6日火曜日、市内教頭会議、スクールサポートチーム全体会と校長面談を行っています。校長面談は6日から9日までの4日間行いました。

6月8日木曜日、文化財保護委員会、地域学校協働活動研修会。

6月9日金曜日、社会を明るくする運動理事会・総会。

6月12日月曜日、教育政策課から来所されまして、本年度、泗水西小学校が推進校ということで、ICTを活用した授業の研究発表を市の研究発表と併せて行い、教育政策課に指導も行っていただけたということでした。菊池高校のポート部が表敬訪問を行われております。それと、前進塾の視察を行いました。

6月14日水曜日、市内小中学校長会議と包括連携協定の企業・大学との交流会が行われております。

6月15日木曜日、青少年育成市民会議理事会・総会。

6月16日金曜日、市長記者会見。

6月19日月曜日、教育委員会議と西留先生の指導が菊池北小で午前中に行われております。午後からは講話をしていただくことになっております。

では、2番目に市内小中学校長会議での連絡事項です。

はじめにということで、職員の不祥事について謝罪を行っております。

あと、体育大会、運動会で児童生徒のすばらしい姿が見られたこと、それから、特別支援学級の児童生徒への配慮が非常に良かったということで、日ごろの指導に感謝しますという話をしてしております。この頑張りを日常生活に生かすこと、それと、今週末に郡市中体連ありますので、思い出に残る大会にしてほしいということ伝えております。

また、県の中学陸上で、共通4種目競技で南中の後藤さんが優勝しております。それから、3年女子800メートルで廣川さんが2位、3年男子1,500メートルで梨子本君が3位に入っております。

あと、様々な問題に対して校長はリーダーシップをとってほしい、やはり、初期対応が大事だということを校長先生方をお願いしております。

次に、管内教育長会議で成尾所長からの話を伝えております。

管理職選考考査についてということで、校長の退職者が、令和3年度が9名、令和4年が14名、本年度末が9名ということで、3年間で32名の校長先生方が退職されます。また、1、2年目の校長先生方が21名、教頭先生方は30名いらっしゃるといったところで、やはり、若手やミドルリーダーの育成がとても大事だと。次に来る年代の方ですね。

それと、各種校長ヒアリングや、指導訪問については、学校によって、取組の最初の段階から全てのことをきちんと把握していらっしゃる校長先生と、今、課題等の対策をやっていらっしゃる方、今からですという方がいらっしゃって、既に差が出ているということをお話されておりました。

人材育成については、先ほどお話ししたとおりです。

坂本管理主事からは、不祥事防止と事故防止と管理職選考考査についてお話がありました。

加配の活用につきましては、計画どおりお願いしたいと。

その他として、労働安全衛生体制の整備充実を行っていただきたいということ。それとコロナ関係のサービスが変わったことについて指導がっております。

指導課長からは、指導改善研修及び指導力サポート研修の内容について、巡回

訪問における気づきについてということで、やはり先ほどの所長と同じように、早い段階から対応している学校とそうでないところの差があるということをおっしゃっています。それと、今後の学校訪問についての話があります。

次に、連絡事項として、安心安全な学校づくりのためにということで、愛知県で集中豪雨がっておりますので、これから大雨対策等のお願いがありました。ハザードマップが配られておりますので、どこが危険地域にあたるかというのを再度、全職員で確認をしておくようにという指導をしております。

学力向上については、市の学力調査の結果ということで、この後、指導主事から報告がありますけども、学力保障をするために何をすべきかということ、それと基礎基本の徹底、家庭学習習慣の定着と宿題等の確認をしっかりやるように話をしております。また、令和6年度の公立高校入試日程を考慮した年間計画の見直しをお願いしています。以前のように、前期が2月1日、後期が3月5日・6日ということになりましたので、それに向けて中学の年間計画を見直しをするように話をしております。

いじめについては、今月がいじめ防止月間ですので、取組の充実を図っていただきたいこと。

人権教育啓発については、人権教育の授業と学級経営の充実を図ることをお願いしております。

不祥事防止については、自校のこととして考えること、ちょうど6月から水泳の授業が始まりますので、更衣等をするときのプライバシーの確保がしっかりできているかどうかを管理職にチェックしていただきたいということをおっしゃっています。

その他としまして、8月の校長会議で、菊池市内も1・2年目の若手の校長先生が多いので、熊大の名誉教授である吉田道雄先生に、「学校の活性化と安全に求められるリーダーシップ」という題で講話をしていただくようお願いしております。

今後の予定としましては、明日の20日が庁議、また西留安雄先生に旭志小学校で指導を行っていただきます。

21日、夜間中学の推進協議会。

22日、小学生の演劇教室です。小学校3年生を対象に、文化会館において演劇教室を行います。

23日、市議会の開会と人権教育学校教育部会の総会が行われます。

24日・25日が菊池郡市中体連。

25日、菊池ライオンズクラブの式典がありますので、参加いたします。

27日、菊池高校の学校運営協議会。

28日、本会議。

29日・30日、一般質問。

7月2日、JAきくちキッズスクールの開級式。

3日・4日が、一般質問。

4日、地域未来塾の菊池南中学校の開校式。

5日、市議会の常任委員会と管内教育長会議、地域未来塾の菊池北中学校の開校式。

6日、市議会の常任委員会。

7日、菊池市共同募金委員会の審査委員会。

8日、社会を明るくする運動の講演会、また部落解放同盟熊本県連合会の定期大会に参加します。

10日、七城中学校への総合訪問。

11日、庁議、市議会の予算・決算常任委員会。

12日、菊池市内の小中学校長会議。地域未来塾の旭志中学校開校式。

13日、全国都市教育長の会議の理事会。

14日、市議会の閉会日。

18日、市内小中学校の教頭会議、菊池市の教育支援委員会。

19日、義務教育学校の視察となっております。

以上で私の報告を終わります。

質疑等はありませんでしょうか。

委員一同 なし

音光寺教育長 ないようですので、これで教育長の報告については終わります。

それでは、議事に入ります。

議案第18号を議題とし、事務局から説明をお願いします。

川口課長。

川口生涯学習課長 生涯学習課です。よろしくお願いいたします。

議案書の1ページをお願いいたします。議案第18号、菊池市社会教育委員の委嘱について御審議をお願いいたします。

社会教育委員は、社会教育法第15条に「市町村は社会教育委員を置くことができる」と規定されておりまして、本市では、菊池市社会教育委員設置条例を設け、社会教育委員を置いているところでございます。

社会教育委員の職務といたしましては、社会教育法第17条に、一つ、社会教育に関する諸計画の立案、二つ、教育委員会の諮問に応じ、これに対して意見を述べるなどと規定されておるところでございます。

近年では、令和4年度から施行いたしました生涯学習基本計画の策定に対する助言や、昨年度に諮問いたしました生涯学習センターの在り方についてに対する答申などをいただいております。

社会教育委員の任期は、市条例第2条に2年と規定されておりまして、昨年度いっぱい任期が切れております。また、社会教育委員の委嘱に関しましては教育委員会の権限となっておりますことから、今回議案として上程させていただいております。

議案書の2ページをお願いいたします。

今回、15名の社会教育委員の委嘱をお願いするものでございます。今回の委員の内訳といたしまして、学校教育関係者3名、社会教育関係団体から4名、学識経験者として各地域代表それぞれ2名ずつの計8名、合計の15名を委嘱したいと考えておるところでございます。なお、委員の男女比は、男性8名、女性7名となっております。

以上で説明を終わります。よろしくお願ひいたします。

音光寺教育長 では、ただいまの説明について質疑及び御意見等はありませんでしょうか。

委員一同 なし

音光寺教育長 それでは、質疑がないようですので採決いたします。
議案第18号を原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

委員一同 異議なし

音光寺教育長 異議なしと認め、議案第18号は原案のとおり可決することに決定します。
それでは、報告案件に入ります。
報告第12号の説明を事務局よりお願いします。
清永指導主事。

清永学校教育課指導主事 学校教育課、清永でございます。

令和5年度4月に実施した菊池市学力学習状況調査の結果概要について御報告させていただきます。お手元等の資料を御覧ください。

この調査は、12月に県教委が実施している熊本県学力学習状況調査と同じ、東京書籍の問題を利用しております。

この調査は、小学校では3年生から6年生を対象に国語と算数にて、中学校では全学年で国語・社会・数学・理科、2年生以上はさらに英語にて実施しております。また、i-checkと呼ばれる児童生徒質問紙も併せて実施しています。

詳細調査結果は細かな内容になりますので、今回はその概要について御説明いたします。

それでは、資料1ページを御覧ください。ここには、総合正答率と標準スコアを掲載しております。項目にあります目標値は、学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童生徒の割合を示したものです。児童生徒の正答率が目標値を5ポイント以上上回ったものには白色の三角のマークが、目標値に対してプラスマイナス5ポイント未満であれば、ニアリーイコール(ほぼ同じ)ということになっております。目標値が5ポイント以上下回った場合は、黒色の三角マークが記されております。

また、標準スコアとありますが、全国の正答率を50としたときの換算値、いわゆる偏差値でございます。

1 ページの表では、左から菊池市の結果、目標値、評価、全国平均、そして、標準スコアを示しております。特に、同一集団による経年比較とございますが、同一児童生徒の昨年度4月、12月と比較してどのような変化があったかを数値で表しております。

小学校の結果を見ますと、国語・算数ともに目標値と同程度となっております。標準スコアを見ますと、4年生の国語では伸びが見られました。そのほかの学年教科では、昨年度の結果に比べマイナス傾向となりました。

2 ページには、中学校の結果を掲載しております。中学校では、国語の全学年と1年生の数学、社会、理科は目標値と同程度でした。一方、その他の学年教科につきましては目標値に達することができず、各校での結果分析を丁寧に行う必要がある結果となっております。標準スコアを見ますと、中学3年生の理科は全国平均を超える結果を収めることができました。

3 ページを御覧ください。これまでの表の右側にあります、同一集団の経年比較のうち、昨年度の4月と今回の結果比較をグラフに表したものでございます。小学校では4年生の国語が、中学校では1年生と3年生の国語、3年生の理科で伸びが見られました。一方、赤色で示している算数・数学については低下傾向が見られ、小学6年生ではその傾向が大きく見られます。

なお、このグラフには反映されておりませんが、昨年度12月実施の熊本県学力学習状況調査と比較しますと、小学4年生の国語、中学1年生の理科、中学2年生の社会、中学3年生の国語、数学、英語では伸びが見られております。

4 ページを御覧ください。ここからは、各教科の結果と特に課題が見られた小問を掲載しております。各学校での取組により成果も見られますが、今回は課題を中心に御説明いたします。

まず、国語です。

紙面左側の標準スコアをカテゴリー化したチャート図を見ますと、小学校、中学校とも基礎の定着に課題があり、領域別に見ると読むことに落ち込みが見られました。

紙面右側のグラフは、正答率ごとの人数の割合を示した正答率度数分布図でございます。ここからは、小学4年生から正答率40%未満の児童生徒がいることが見てとれました。

小問分析がこの後のページから続いておりますが、当該学年で学習する漢字の読み書きの定着について、各学校での一層の取組が必要であることが分かりました。

7 ページを御覧ください。ここからは、算数・数学について、結果を御説明いたします。

左側のチャート図から、小学3・4年生が全国平均と同程度のバランスのよい定着状況であるのに対して、小学5年生から各カテゴリーで全国平均との差が生じ始め、小学5・6年と中学2・3年生では特に基礎の定着に課題がありました。

課題となる小問は、今後の取組の参考とするため、全国平均との差が大きかった問題を全て掲載しております。今後、課題のあった問題について、各学校で復

習を進めていく必要があります。

また、学年が上がるにつれて、正答率40%未満の児童生徒の割合が高まっており、小学校での基礎的・基本的な学習事項の確実な定着と、中学校での学力向上の取組が求められるところです。

10ページを御覧ください。ここでは、中学2・3年の英語について御説明いたします。

チャート図の広がり小さく、正答率度数分布図からも正答率40%未満の生徒の出現率が高い状況となっております。生徒の意欲と基礎学力の向上に向けた授業改善、中学校区ごとの小中学校情報共有等を行い、生徒の英語が好き・分かるという実感につなげていく必要があります。

11ページからは、中学校の社会の結果を載せております。

1年生は全国平均と同等の定着状況でした。2・3年生では、記述式問題が課題として挙げられました。また、全体的に定着率40%未満の生徒の割合が高い傾向にありました。

続きまして、12ページは中学理科の結果です。

社会同様、1年生の全国平均、またはそれ以上の定着状況にありましたが、2・3年生では全国平均を下回り、正答率の度数分布図から見ても、1年生では右側に山がありましたが、それが左のほうに寄っており、定着率40%未満の生徒への手だてが必要であるというふうに言えます。

続きまして、14ページを御覧ください。ここからは、児童生徒が生き生きとした学校生活を送るために、多面的な質問の結果を基に、教師及び児童生徒のほか、今後の学校生活、家庭生活の改善に役立てることを目的とした*i - c h e c k*の結果について御説明申し上げます。

15ページを御覧ください。

その結果の概要をカテゴリーごとにレーダーチャートにまとめております。

小学校、中学校共通して学級の規範意識が高い結果となっております。ここ数年、同様な傾向でございます。一方、成功体験が低い結果を示しておりました。

また、次の項目と関連する結果ではございますが、学習習慣が小学4年生5年生と中学1年、3年で低くなっておりました。学習意欲に比べ、学習習慣が低い結果となっており、学習習慣の見直しが求められる状況となっております。

16ページからは、学習習慣や生活習慣に特化した項目について結果を御報告いたします。ここでは学年ごとに、学校の授業以外で週に何日くらい勉強するか、平日1日にどれくらいテレビや動画を見たり、インターネットを使ったりゲームをしたりしているか、平日や休日の学習時間はどれだけかについての結果をお示ししております。

まず、週の学習日数ですが、週に2から3日学習すると答えた児童生徒の割合が高く、毎日学習すると答えた児童生徒の割合は全国平均より少ない傾向でした。

次に、平日のテレビや動画、インターネット、ゲームの時間については、2時間ぐらいが最も多く、全国平均並みかやや高い傾向にありました。

そして、平日や休日の家庭学習時間につきましては、1時間以内の割合が高く、

全国平均と比べると、小中学校とも、家庭学習の時間を十分に取、学習内容の定着を図っていくことが求められる結果となっております。

最後に、菊池市学力調査の結果を受けた取組について御説明いたします。大きく分けて3点ございます。

1つ目が、誰1人取り残さない学びの保障です。先ほどお話ししたとおり、各教科で正答率40%未満の児童生徒が多く見られます。基礎的、基本的な学習事項が未定着のまま次の学年に進むとますます授業内容が分からなくなり、学力の低下、不登校の増加につながるおそれもあります。そのため、本年度は正答率40%未満の児童生徒の把握を確実にし、その子に対して個別支援等を進めながら基礎学力の向上を図ってまいります。既に6月上旬、菊池市基礎学力向上取組シートというものを各学校に送付しており、各学校で実態把握と取組の内容がまとめられているところです。

2つ目は、家庭生活の見直しです。調査結果から、家庭学習の時間が短く、インターネットやゲーム、テレビと向き合っている時間が長いことが分かりました。そのために、幼保小中連携協議会やPTAと連携協力しながら家庭での過ごし方を把握したり、児童生徒が持っているICT端末による家庭学習の充実を図ったりしたいと思います。

先ほど、委員の皆様にはお配りしましたが、さらに教育委員会では、黄色の冊子「菊池の子学びの手引き」というものと、1枚ものの紙を配布しております。黄色の冊子のほうは、家庭学習で、どのようなことについて、どのようにまとめていくとよいかを例示したもの、そして、1枚ものの紙のほうには、どれぐらいの時間勉強するんだよ、勉強するときはこんなことに気をつけるんだよということを、子どもたち、そして保護者の方へお伝えする内容となっております。これを机の上の常に見えるところに置いておいて、子どもたちが活用できるようにしていきたいと考えているところです。

最後は西留安雄先生に学ぶ授業改善です。昨年度から西留先生に学びながら、教師が教える授業から児童生徒が主体的に学ぶ、全員参加型の授業へ転換を図っております。先ほど教育長からもありましたが、今まさに西留先生が菊池市の小学校で授業を参観しているところです。午後からは、全ての先生方に対して、西留先生から模擬授業や講話が行われます。

以上のように、基礎学力の向上、家庭学習の充実、授業改善の大きく3点について重点的に取り組みながら、菊池市の児童生徒の学力の向上を図ってまいります。

長くなりましたが、私からの説明は以上です。よろしくお願いいたします。

音光寺教育長 では、ただいまの報告について質疑及び御意見等はないでしょうか。
森委員。

森委員 この件に関しましては、菊池市では毎年、家庭学習のところが問題になっています。私も、今年から孫が小学校に行き始めましたけど、見ていると、特に低学年あた

りはなかなか1人じゃできないなということを感じているんです。今は共稼ぎで子ども一人でやっていることが多いですので、やはり夜にでも保護者がしっかり、もう一度見てあげたりすることが改めて必要ではないかと思います。

1年生の今の時期でも、この間、孫のお便りで、音読本読みのカードなどを徹底してなくて、忘れていた人がいますと書いてあったので、本当にびっくりしたんですけど、学校から家庭学習についてお願いするけれど、いま一步入ってないのかなと。毎年課題がありますけれど、そこはやはり学校として何か取組を考えていくべきじゃないかなと思います。

音光寺教育長 どうもありがとうございます。

ほかに御意見等ありますでしょうか。

城委員。

城委員 私も森委員と同じなんですけれど、今回テストの結果が悪かったからと言って、お子様のスマートフォンを預かった保護者の方がいらっしゃいます。その保護者の方が言うには、9時以降に預かったスマートフォンの通知音がずっと鳴っていたそうなんです。例えばLINEとかだと思うんですけど、手元にあるだけで見ないとしても、通知音がずっと鳴っているなら、自宅で集中して学習ができないお子さんたちが増えてきているのかなとすごく感じています。その管理が、なかなか難しいことですが、その指導を保護者の方も含めてしっかりしたほうがいいんじゃないかなと、本当にここ最近聞いた話に関して思ったところです。

以上です。

音光寺教育長 ありがとうございます。

まさにそのとおりで、やはり、家庭との協力がいかに大切かということを感じます。

ほかに御意見ありますでしょうか。

委員一同 なし

音光寺教育長 この件につきましては、教育総合会議でまた議題としますので、そのときに改めていろいろ御意見を聞かせていただければと考えております。

では、次にその他に入ります。事務局から何かありますか。

事務局 ございませぬ。

音光寺教育長 では、ないようですので、本日の委員会はこれで閉会いたします。

皆様、御起立をお願いします。お疲れさまでした。

— 了 —